

2

FEBRUARY
2012



こ

が

古河

広
報

No.77

今月の特集

- 地域交流センターの紹介 2
- 飲酒運転は犯罪 5
- 子ども会活動 6

まちの話題

- 新春のつどい 8
- 成人式 8
- 七福神めぐり 9

新たな地域のシンボル「はなももプラザ」



市民の交流そして、歴史・文化資源や観光拠点としての情報発信の場となる「古河市地域交流センター(はなももプラザ)」がオープンしました。整備にあたってのコンセプトは風格ある歴史・文化と「人」が織りなす、交流・活力のあるまちづくり。1月号で概要を説明しましたが、今月は施設の機能などを詳しく紹介します。

①



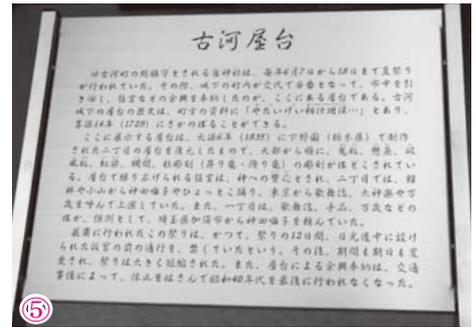
② 道路からも見える施設看板



③ 2階ロビーは窓からの光が入り明るく開放感があります



④ 屋台ホールには屋台鑑賞や舞台演出が可能な照明器具を完備しています



⑤ 古河屋台の歴史が詳しく書いてあります



⑥ 使いやすい大きなシステムキッチンを完備



⑦ 150人収容可能。ステージは可動式です



⑧ 和室は24畳と18畳で間仕切り可能です

① エントランス、奥には雪華模様のタペストリーもあります。② 「はなももプラザ」の看板が目印。③ 2階には和室や調理・創作室などがあります。④ 天保6(1835)年に作られた「古河屋台」は、かつて、地元の祭り際には数々の余興を行い、祭りを盛り上げましたが老朽化に伴い解体して保管されていました。そして、このたびの施設建設に合わせてリニューアル。普段はよこまち柳通りから見ることができる屋台ホールに展示していますが、さまざまなイベントに対応可能な舞台として、発表会などで利用できます。⑤ 「古河屋台」右側の説明パネル。⑥ 調理・創作室。⑦ 多目的ホール。ダンス等の際、体に負担が少なく済むよう、クッション性のある床材を採用しています。⑧ 和室も利用人数に広く対応します。⑨ 1階の観光ギャラリーに設置しています。



⑨ 提灯竿もみまつりのタイル絵

特集 ① 地域交流センターの紹介



⑩

屋根の南面に設置した太陽光パネル



⑪

太陽光発電表示パネル



⑫

よこまち柳通り



⑬

防火水槽を敷地内に設置



⑭

施設の南側の駐輪場スペース

⑩維持管理、環境を配慮した施設として太陽光発電を屋根に設置し、照明器具の一部にはLED照明を採用、ランニングコストを抑えるよう配慮しました。⑪来館者にも発電状況がひと目で分かります。⑫1月20日から一方通行が解除され対面通行になりました。⑬受水槽・防火水槽を敷地内に設置し、災害時には一定規模の水を利用できる、防災拠点としての施設でもあります。⑭駐輪場も敷地内に設け約20台が駐輪可能。⑮敷地内駐車場は身障者用1台を含め33台、第2駐車場は18台、合わせて51台が駐車可能です。



⑮

第2駐車場は「はなももプラザ」から南に30メートル

■図書サービスも実施

以下の5つの図書機能のサービスも施設で提供しています。

- ・ 予約した図書の貸し出し
- ・ 市内図書館、図書室で借りた図書の返却
- ・ 図書利用カードの発行
- ・ インターネット蔵書予約申し込み
- ・ 図書の予約

【問】古河市地域交流センター
(はなももプラザ) ☎21-1255

飲酒運転は犯罪です！

～飲酒運転事故多発！ 県内ワースト1～



市内では、飲酒運転事故が多発しています。昨年1年間で交通事故死亡事故9件中約半数の4件が飲酒運転。飲酒運転による人身事故はなんと27件で、1カ月で2件強の割合で発生しました。これは、県内44市町村でワースト1、たいへん残念で悲しい結果です。

【問】 総和庁舎 交通防犯課
☎92-3111

■ 飲酒運転は立派な犯罪

飲酒運転は、立派な犯罪です。運転者はもちろんのこと同乗者、飲酒運転を容認した人や店も重い刑事処分や行政処分を受けることとなります。そして、飲酒運転事故は当人だけではなく、被害者やその家族など、たくさんの人たちの人生を変えてしまい、人生を奪ってしまうこともあります。

■ ハンドルキーパー運動 推進中

ハンドルキーパーとは、車両等で仲間と飲食店等に行く場合、本人は飲酒せず仲間を自宅等まで送り届ける人のことです。



◀古河駅でも横断幕で飲酒運転防止を広く呼びかけています

【飲酒運転取消処分者講習受講者文集—「新たな誓い」より抜粋】

○今まで37年間勤めていた会社を辞めることになり、自分が会社で「飲酒運転は絶対にしないように」と言い続けてきたのに…反省している毎日です。(56歳女性)
○取り消しになって非常に困ったのは、仕事に行くのが自転車なのが一番辛かったです。(39歳男性)

■ 「大丈夫だろう」が 大事故へ

「少量しか飲んでいないから」「少し休憩したから」「近いから」などの勝手な理由で「大丈夫だろう」と運転することが大事故につながります。

一滴でもアルコールを飲んだら運転してはいけません。これは徹底していきましょう。

■ 飲酒運転の刑事・行政処分の内容

区分		刑事処分	行政処分(違反点数等)	
運 転 者	酒酔い運転	懲役5年以下 または罰金100万円以下	35点 免許取り消し	
	酒気帯び運転	懲役3年以下 または罰金50万円以下	0.25mg/ℓ以上	25点 免許取り消し
0.15~0.25mg/ℓ未満			13点 免許停止	
そ の 他	車両の提供	懲役5年以下 または罰金100万円以下	運転者と同等の処分を受ける	
	酒類の提供 車両の同乗者	懲役3年以下 または罰金50万円以下		

子どもの成長を地域が育む 子ども会に入ろう！

「子ども会」は、同じ町内や地域に住んでいる異なる年齢の子どもたちの集まりです。

異年齢の子どもたちが触れ合いながら、さまざまな活動をしていく中で、家庭や学校では得られない貴重な経験や知識を学んでいきます。子ども会に入ってみんなで楽しい思い出を作りましょう！

【問】古河庁舎 生涯学習課 ☎22-5111

☆子ども会の魅力って？

○遊びから学ぶ・育つ！

子ども会の基本は「遊び」です。

それも仲間でルールを作るなど、自分たちで創る「遊び」です。

子ども同士の触れ合いの中で、ルールを守ることの大切さや相手を尊重する心が育ちます。また、時には励まし、競い合いながら目標に向かって努力する大切さを学びます。

○「異年齢集団」で自主・自立！

子ども会には、幼児から小学生・中学生までいます。お兄さんとお姉さんが年下の子どもたちと元気いっぱい遊びます。遊びを通して、社会生活を営むために必要な自主性や思いやりの心、リーダーシップを養い育っていきます。

○大人も交流・成長の場！

子ども会では、保護者や子どもの健全育成を支える地域の大人を育成者と呼びます。育成者も子どもとともに活動し、交流の輪を広げ、自らも成長していきます。

○地域を好きになる☆

子ども会は、小さな「地域」を単位に活動しています。そこで楽しい活動をすることにより、自分のまちを好きになる、「地域愛の心」が育ちます。



古河市子ども会育成連合会

今日の青少年を取り巻く社会環境は大変厳しく、多くの問題を抱えており、その解決には家庭や学校だけでなく、地域社会との連携や教育力を高めることが求められています。「古河市子ども会育成連合会」では、学区・単位子ども会への支援・連携を図りながら、力を合わせて魅力あるイベントを企画しています。また、子ども会の活動をより活性化し充実するための保護者や地域の指導者・育成者を対象とした研修も行っており、大人がみんなで子どもを育てる地域づくりに努めています。

各地区会(古河・総和・三和)でも野外活動や球技大会、チャレンジランキング、施設訪問など、さまざまな楽しい活動をしています。また、各地区会間での事業交流も盛んに行われており、地区や学区を越えて市内のたくさんの友達と楽しく活動しています。

2011活動内容紹介

古河地区会

幹部研修会(宿泊体験)：県立さしま少年自然の家・6月18日(土)～19日(日)

古河地区の小学5・6年生82人、学生ボランティア10人、育成者50人が参加しました。子どもたちは10班に分かれて係を決め、自分の係に責任を持って活動していました。また、他の係のお友達を手伝いながらみんなで協力し、豊かな自然の中で自主性や協調性を育みました。



球技大会(ドッジボール)：古河体育館・10月1日(土)

総数29チーム(347人)が参加し、低学年・高学年の部に分かれて盛大に開催されました。試合をしていると、積極的にボールを捕ろうとする子やかわすことに全神経を注いでいる子など、子どもたちの個性が見てとれました。



総和地区会

指導者研修会：中央運動公園会議室・7月24日(日)

総和消防署の署員の方々を講師にお招きし、AEDや三角巾を使っての応急処置講習を行いました。児童・指導者105人が受講し、子ども会活動だけでなく、災害や事故などに遭遇した場合の人命救助の知識として、大変有意義であったと賛同の声がありました。これからの子ども会活動に役立てていきます。



野外活動：ネーブルパーク&平成館・8月27日(土)

総和地区の小学生33人の児童が参加し、学生ボランティアのお兄さん・お姉さんと一緒に野外炊飯やチャレンジランキング等を通して、共に活動する楽しさを体感しながら、学校・学年を越えて交流を深めました。



三和地区会

こどもまつり：三和健康ふれあいスポーツセンター・10月22日(土)

前日からの雨天で開催が危ぶまれたこどもまつりですが、三和健康ふれあいスポーツセンターのサブアリーナを利用し開催しました。開催中も時折雨が降りましたが、屋内であったこともあり、たくさん子どもたちがゲームに参加し、たいへんにぎわいました。

育成者研修会：三和公民館・11月27日(日)

育成者向け研修会を実施しました。茨城県青少年心理アドバイザーの阿部誠一先生(「自己肯定感が育つ子育て」)と陸上自衛隊古河駐屯地の石橋正弘三等陸佐(「自衛隊の災害派遣活動状況および防災についての心構え」)にお話をいただきました。子育てに悩む親の心の持ち方や子への接し方等。また、被災地の状況や自衛隊の活動などを、丁寧に、また時折楽しくお話していただき、大変有意義な時間を過ごせました。



まちの話題

天翔ける飛躍の年に！ 新春をみんなで祝う

新年を祝う「新春のつどい」が1月13日、中央運動公園総合体育館で開催されました。出席者は議員、各種機関・団体の役員など約550人。式典では、市長による年頭のあいさつの後、市政功労者16人の表彰を行いました。これは、市政の発展に功績のあった人を表彰するものです。また、市の公益のために金品などを寄付された19人への感謝状の贈呈を行いました。

その後、「公声会」による木遣り、鏡開きを行い、全員で乾杯。新春の賀詞交歓が和やかに続いていきました。



白戸市長のあいさつ



市政功労者表彰と寄付者への感謝状贈呈



立食パーティー形式で開催



最後に参加者全員で万歳三唱をしました

市政功労者

(順不同・敬称略)

○自治功労者

渡辺松男(長谷町) 多年市議会議員
 落合康之(東本町) 多年市議会議員
 佐藤泉(東本町) 多年市議会議員
 間瀬佳嗣(上片田) 多年行政区長
 井上功(磯部) 多年消防団本部員
 石山正之(原町) 多年消防団員
 大草耕二(新久田) 多年古河市非核平和都市推進委員会委員

○産業功労者

蓮見公男(錦町) 多年商工会議所役員

○教育功労者

遠藤文子(本町) 多年学校医
 川島陽一(本町) 多年学校医
 齋藤恒秋(松並) 多年学校医
 鈴木正一(女沼) 多年学校歯科医
 福田恒雄(下大野) 多年学校歯科医
 白土昌之(西牛谷) 多年学校歯科医
 石塚克己(長左工門新田) 多年体育指導委員
 湯野久美子(尾崎) 多年体育指導委員

「門出を祝う」成人式典

1月8日、中央運動公園総合体育館で新成人の門出を祝う「古河市成人式典」が行われました。今年古河市で成人を迎えたのは1,496人。華やかな振り袖やスーツ姿の新成人1,179人が出席して盛大に行われました。会場内外では、新成人たちが久しぶりに再会した友人と歓談していたり、また学生時代の恩師が駆け付けたりと思い出話に花が咲いていました。これから大人の仲間入りをする新成人たちにとって素晴らしい門出の式典になったことでしょう。



社会に貢献できる大人になることを決意して式典に参加する新成人たち



成人した喜びを友人たちと分かち合いながら笑顔で記念撮影

日々新たなり ～はなももプラザオープン～

古河市長 白戸仲久

「福よ来い」古河七福神めぐり

7,000歩で歩ける「第6回古河七福神めぐり」は、冬晴れのもと1月8日古河駅西口地区で行われました。集合場所の花桃館に集まった参加者は、家族連れなど約1,500人。3つのコースに分かれて、市内の名所旧跡を散策しながら、約2時間かけ、「家族の健康」や「平穏な1年に…」など、福を求めて七福神を参拝しました。

また、各寺社では、地域のご厚意により甘酒や温かいお茶などが振る舞われました。ご協力ありがとうございました。



古河市を訪れた多くの人たちが、古河の歴史に触れました

全国大会に出場

○第24回全国健康福祉祭くまもと大会(ねんりんピック2011熊本)10月15日～18日

【種目】卓球 高橋義夫さん

【種目】ソフトテニス

津久井久子さん

【種目】サッカー

水戸・古河シニア

今回は、2月1日に開館した古河市地域交流センターについて取り上げます。

地域交流センターは、国土交通省の「まちづくり交付金」や、合併特例債などの有利な交付金や特例債を活用して、古河駅西口地区のまちづくりの事業の一つとして計画されたものです。老朽化して危険な西公民館の代替施設として設置いたしました。

計画策定に当たり、地元自治会や関係者の度重なる検討を経て最終案が決定されました。企画段階で、この地が日光街道の宿場があり、かつては、まちなぎわいの中心地であったこと、古河提灯竿もみまつりの発祥の地であることなど、地域の特性を最大限生かすこととしました。

また、公民館機能は重要であるが、地域交流センターとして計画されているので、地域交流の拠点となる機能も有した施設でなければならないことも重視されました。

そこで、着目されたのが、旧古河の高齢者の方々には懐かしい古河二丁目屋台です。屋台は、大きな集会施設のない時代に、祭りの舞台として活躍しました。ディック・ミネという往年の大歌手も屋台に立ったことがあります。現役引退後、市に寄贈されたも

のを、このたびリニューアルし古河屋台として復活させました。

館内には、古河にゆかりのある土井利位の「雪華図説」から雪華デザインを用いた雪華文様の「タペストリー」や、古河提灯竿もみまつりの「タイル絵」などが展示され、古河の魅力発信に一役買っています。また、大型モニターでは、コンピューターグラフィックスによる「古河城」の復元映像や、市の祭りや見どころなどの映像が流れ、まち歩きがさらに楽しくなる工夫が凝らされています。

地域交流センターの愛称は、公募により市の花「ハナモモ」にちなみ「はなももプラザ」と命名いたしました。「はなももプラザ」は、公民館機能だけ



▲昭和32年7月23日古河の夏祭りに古河屋台で歌うディック・ミネ氏(中央)

【写真提供/鈴木路雄さん】

でなく、地域交流機能も充実しています。皆さま方に地域交流の拠点として、積極的に活用していただきたいと思

キラッ! 輝く人たち

最後まで諦めない心

第55回全日本学生空手道選手権大会優勝
そめ や た か よ し
染谷隆嘉さん(22歳 日本大学 旭町)

昨年の7月、日本武道館にて開催された全日本学生空手道選手権の男子組手で、日本大学に20年ぶりとなる学生王者が誕生しました。その学生日本一となった染谷隆嘉さんは古河市出身。空手部の主将として部員をまとめながらの快挙でした。今回はその強さの秘密と人柄に迫ってみました。



空手は魅力がいっぱい

小1の時、漠然と強くなりたいと始めた空手。得意技は「突き」で、空手は全身を鍛えられるのと、人とのつながりができていくのが楽しく、また、試合では何が起きるか予測がつかず、組んだ駆け引きの中で相手の性格がつかめるなど……魅力がたっぷりあるそうです。体を動かすのが好きで、バスケットやダンスも楽しんでいます。ちなみに、チョコレートが好物で、試合前には3箱も食べるとか。

全日本学生チャンピオンに

最初は市内の道場に通いながら、経験のなかったお父さんも一緒に鍛えてくれて、強豪の東洋大牛久高校へ。親元を離れた寮生活で、仲間と出会い、先生の指導で練習を重ね、日本大学へ進学。「空手は好きだが、試

合はプレッシャーがかかるので嫌い」と話す染谷さんですが、諦めない心で頭角を現し、昨年の全日本学生空手道選手権では、難攻不落の敵を倒し、最難関の学連チャンピオンに。大学からは20年ぶりの偉業である、周囲は大騒ぎでしたが、「周りのみんなのおかげです」とあくまで謙虚です。

日の丸を背負って戦いたい

現在は、先輩から「自分にしてもらったことを後輩にしてやるのが本当の恩返し」と教わった言葉を胸に後輩たちをしっかりとサポート。また、大学生と高校生の妹さん2人もお兄さんを見習い空手で大活躍。自分の経験をアドバイスしているそうです。そんな染谷さんは2年前に参加した古河の成人式で久しぶりに地元の級友と再会

し、「あらためて古河のみんなはやさしい、本当に温かい」と感激したそうです。

今後は、ナショナルチームで活躍することを目標に、現役生活を続け、世界で活躍したいと熱い思いを語ってくれました。



「やめようと思うこともあったけど続けてきて本当によかった」と話してくれた染谷さん。「今後は自分の体験を伝えていきたい」という言葉の中に、どんな試練も諦めずに最後までやりぬく芯の強さを感じました。

図書館のオススメ

◇一般書

・世界一のあきらめない心
なでしこジャパン栄光への軌跡
江橋よしのり 著

大会前に丸山が語った悩み、勝利のPK直前なぜ熊谷は肩甲骨ストレッチをしていたのか…。なでしこジャパンを長く取材してきた著者による「2011女子W杯」舞台裏秘話&ドラマが満載。

出版社…小学館 分類…783エ

・どうぶつのこゝろ図鑑

D 著

いつも一緒のキミ。寄り添えば、それで幸せ…。最愛のどうぶつたちを言葉とイラストで描く。彼らの本音が垣間見える。

かわいくて切なくて優しい
ショートストーリー25本。
出版社…角川書店 分類…Fデ



◇児童書

・あたらしいみかんのむきかた2
岡田好弘 作 神谷圭介 絵/文
みかんに線を描いて、その通りに皮をむくと、どうぶつの形が出来上がる。イセエビ、ティラノザウルス、イルカなど21作品を紹介。中身もおいしく食べられ、子どもも大人も楽しめる、画期的な工作本。
出版社…小学館 分類…798

・王国のない王女のおはなし
アーシュラ・ジョーンズ 文
サラ・ギブ 絵 石井睦美 訳
むかし、王国のない王女がいました。王女は毎日、子馬がひく荷馬車に揺られて、王国を探す旅を続けていましたが…。美しくて行動的なプリンセスの物語。
出版社…BL出版 分類…Eオ
つつみ公民館

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

注目企業人! 「相手を思いやるものづくり」

小澤晃大さん 24歳・上辺見 川崎鍛工(株) 勤務

大学で機械工学を勉強してきて、「大好きいばらき就職面接会」で出会ったのが今の会社。主に自動車部品の鍛造というあまりない業種と実際に工場見学をして興味が湧き就職したのが3年前。現在はお客さまの希望する製品を設計し、現場の意見と調整しながらものづくりの完成に励みます。もともと自動車をいじることも好きでしたが、やってみると設計の方が面白いとか。製品は細部にわたる工夫も必要で会社のコストと現場を思いやりながらの仕事は出来上がる時の達成感が高いです。

そんな会社は若い社員が気軽に相談できる雰囲気、で、「いつも明るくいたい」との希望

にぴったり。どんな時もあせらず自分のペースを守り責任を果たします。そんな小澤さんは「もっと鍛造に詳しくなりたい。先輩たちの知識に早く追いつきたい。」とあくまで食欲に、研究と勉強を重ねます。

■プロフィール

石岡市出身。趣味はスノーボードでこの時期は新潟方面に頻繁に出掛けるとか。また、お気に入りの市内の居酒屋で仲間とコミュニケーションを図るのも楽しみ。



古河ヒストリー

◎節分の作法

～臭いに力をあたえる呪文～

新聞折り込み広告を眺めていると、1月中旬にもなると、初売り・お年玉セールの正月商戦が終わり、節分が特集されます。豆・鬼の面などとともに近年目にとまるのは節分の「恵方巻」なるもの。恵方なんてちょっと古くさそうな言葉を、一躍若者に浸透させたものです。かつては、恵方といえば、正月の神様を迎える棚をどこにしつらえるかと、暦をめくって決めていた方位ですが、いまではすっかり、恵方巻の巻き寿司のためにあるようになりました。

恵方巻は、関西にはじまり、大阪のすし商組合によって広められたという説もありますが、もっぱらスーパーやテレビで普及し、誰もが知るところとなった習俗のひとつです。

そんな節分には、家ごとのさまざまな作法があるようで、25年ほど前に上大野のSさんのお宅でうかがったお話では、この日は、夕飯の前に、鯛の頭を大豆の殻に刺し、つばを吐きかけながら焼き焦がしたヤッカガシなるものを作っておき、これ

を主屋のおもやの出入口に刺した後、あらかじめ歳神様に供えておいた大豆を撒くのだそうです。はじめは座敷の恵方から、そして最後は入口の扉めがけて「福は内、鬼は外」を2回、そのあと「福は内、福の神をブツメロ」とかけ声を発するのだと。ヤッカガシを焼くにあたっては、「稲



節分に作られるヤッカガシ(下大野)

作の虫ピュッピュッピュッ」と、つばを吐きかけ、麦・大豆など、家で作っている作物すべてについて同じことを唱え、「総作の虫ピュッピュッピュッ」でしめくくるという。この鯛の頭を焦がす臭いで、邪悪なものや作物を荒らす虫を払おうとしたのです。また、ヒイラギをつける家もあり、そのトゲでこれまた邪悪なものを除けるのだといいます。その時うかがったお話によれば、ある家では、最後の部分を「隣のばあが尻ををたれて、お一臭い、あ一臭い、しゃらくさいのそうろう」と唱えたいう。呪文らしく「そうろう」で終わる言葉には、より一層その威力がありそうです。嗅覚や触覚で退散してしまう邪悪なもの、なんだか人間らしいですなあ。それにしても、このごろのわたくしはといえば、鬼も虫も寄らないほどの加齢臭が出なければと願っている毎日です。んっ、手遅れだって!?

「此村このにくされ鯛のかしらして」

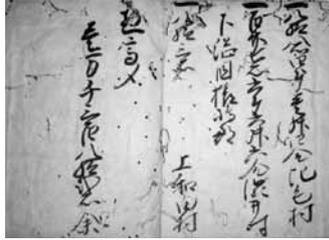
(『西山宗因千句』より)

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

文化の扉

上和田村と丹後峰山藩～飛地領～

江戸時代、上和田村(現：古河市上和田)の内83石は、丹後国峰山藩(現：京都府京丹后市)1万1,382石京極家の飛地領でした。大名家の領地は居城や陣屋(藩庁屋敷)の周辺地域のほか、遠隔地にも散在していましたが、これを飛地領といいます。峰山藩の領地は、大部分が峰山館(藩庁陣屋)を置く丹後国中郡に集中しますが、飛地領として、近江国蒲生郡に1カ村、遠方の関東の常陸国真壁郡に3カ村、下総国猿島郡に1カ村を領していました。この猿島郡の1カ村が上和田村です(※上和田村は相給地といって村中を2分割しており、残り302石は旗本横田氏知行→古河藩領



▲宝永2年(1705)酉ノ9月「御知行高」

→関宿藩領と変遷)。これら関東の飛地領を峰山藩では関東御領分と呼び、江戸屋敷の賄い地(管理維持のための領地)であったといいますが、残念ながら現在、三和地区には裏付ける資料は現存しません。上和田村の峰山藩領は、83石とひじょうに少ないですが、当然、藩による検断(警察・司法)や年貢徴収といった地方支配が必要となります。しかし、実際には出先機関の陣屋(代官所)は設置されず、支配掛役人は江戸藩邸に常駐していました。そのため、関東御領分4カ村のまとめ役(割元名主)は5代目の殿様、京極備後守高長より偏諱「高」の一字を拝領し名字を改めたという由緒をもつ上和田村の名主家がつとめました。 (三和資料館)

古河市にゆかりのある小説や人物を紹介

古河文学・人物館

「社会派推理の鬼才・小林久三」

松本清張の『点と線』以後、空前のブームとなった社会派推理。今月はその社会派推理で一時代を画した小林久三氏を紹介します。氏は昭和9年古河生まれ。古河一高、東北大学を経て、松竹大船撮影所に助監督として入社します。その後、プロデューサーとして勤めながら推理小説の執筆を始め、昭和47年、冬木鋭介の筆名で発表した『腐蝕色彩』で小説サンデー毎日新人賞を受賞します。49年には足尾銅毒事件を題材とした『暗黒告知』で第20回江戸川乱歩賞を受賞しました。

以後、特異な発想力と重厚な展開力、そして映画界出身らしい繊細な描写力とを駆使し、



▲往年の小林久三氏

『灼熱の遮断線』、『皇帝のいない八月』、『父と子の炎』(角川小説賞受賞)、『零の戒厳令』といった秀作を次々と発表します。社会派推理作品に加え、歴史推理作品等にも数多くの力作を残すなど、まさに「鬼才」と呼ぶにふさわしい活躍をしますが、平成16年、脳梗塞により不帰の人となりました。

氏の膨大な作品群には、『黒黒告知』『火の鈴』『むくろ草紙』など、古河を舞台とした作品が少なくありません。故郷に対する深い思い入れがあったといえましょう。

清張没後20年の今年、あらためて古河出身の社会派推理作家の作品を紐解かれてはいかがでしょうか。 古河文学館 秋澤正之

しっかりかめて、食事がおいしくいただけるのはとても楽しい事です。

お口の健康は、食事以外に、話す、表情を豊かにするなど、元気で楽しい生活を送るためにとても大切です。



健口チェックしてみましょう。

- ①虫歯を放ったままにしている
- ②堅いものを食べない
- ③合わない入れ歯で我慢している
- ④人と話す機会がない
- ⑤よくむせる
- ⑥口の渴きが気になる
- ⑦口腔内が不衛生

以上のうち一つでも当てはまる項目があったら要注意です。

口腔ケアを行ってお口の健康を改善していきましょう。

◆やってみましょう口腔ケア◆

口腔ケアには、「お口の手入れ」と「お口のトレーニング」の二つを行う事が大切です。

【お口の手入れについて】

お口の手入れは、お口の中の清潔を保ち虫歯や歯周病を予防するためにとても大切です。毎食後は、必ず歯磨きをしましょう。



歯ブラシだけでなく、歯間ブラシやデンタルフロスなどを使うと効果的です。義歯の人は、外して洗いましょう！舌が白く汚れている人は、舌の手入れも忘れずに！

【お口のトレーニング】

お口のトレーニングを行う事で、舌や唇、頬、喉の筋肉が鍛えられ、飲み込む機能やかむ力を維持・改善したり、唾液分泌を改善する事ができます。

お口のトレーニングには、口腔の体操や唾液線マッサージなどがありますが、日常生活で、おしゃべりをしたり、大きな声で歌ったり、早口言葉なども、お口の機能を鍛える効果があります。

♪早口言葉にチャレンジ♪

大きな声で、はっきりとした発音で！

- ①^{なまむぎ}生麦 ^{なまごめ}生米 ^{なまたまご}生卵
- ②^{あかまきがみ}赤巻紙 ^{あおまきがみ}青巻紙 ^{きまきがみ}黄巻紙
- ③^{かえる}蛙 ^みびよこびよこ ^あ三びよこびよこ ^あ合わせてびよこびよこ ^む六びよこびよこ
- ④^{あか}赤パジャマ ^{あお}青パジャマ ^き黄パジャマ
- ⑤^{もも}すももも ^{もも}桃も ^{もも}桃のうち

※慣れてきたら3回続けて言ってみましょう！

虫歯や義歯が合わないなど、気になる事がある人は、早めに歯科医に相談を！

今日から適切な口腔ケアで、いきいきとした毎日を送りましょう！



憩いのパークの魅力



2月のネーブルパーク

皆さま、いかがお過ごしですか？ 外で吐く息がますます白くなりました。早朝、霜柱のザクザクという音が楽しくて、ついつい踏んでしまいます。

冬は命が眠るとき。生き物は静かに春を待ちます。そんな中でも園内では、けなげに咲いている花がありますので、少しご紹介します。

まずは茨城県の県木「梅」の仲間たち。

写真は昨年、平成館の前に咲いた紅梅です。とっても華やかなピンクがかわいらしいです。それから、ネーブルパーク入り口付近にある梅の名は「蠟梅」。蠟細工でできているような薄黄色の花からは、とてもフルーティーで上品な香りがします。

同じく入り口付近やポニー牧場の土手には椿の花。今年は雪が降るでしょうか？ 雪の中の椿の美しいこと！ ぴんと張った冷たい空気も相まって花の色

がよく映えます。

また、売店からバーベキュー広場へと続く道には、クリスマスローズの葉がたくさん茂っています。花の時期はほんの少し先ですが、気の早いコはもう咲き始めるかもしれませんね。

花を探して歩いているうちに“ブルッ”ときたそんなときは、軽食コーナーへどうぞ。2月はあったか新メニューが登場します。秋に引き続き、ゴロツと舞茸天ぷらがのったおそばやラーメンも人気ですよ。軽食スタッフは元気いっぱいのパワフルメンバー。気さくな対応で心も体もポカポカにしてくれます。

軽食コーナーのメニューは、テイクアウトもできますので、ひんやりした空気の中、湯気をもくもくさせて気分はアウトドア！ なんてお食事の楽しみ方も。でも、風邪をひかないようにしっかりと防寒対策をしてきてくださいね。

冬の木々の佇まい・そこに集う鳥たち、空気のおい、空の色、今この季節でしか味わうことのできない瞬間があります。五感を研ぎ澄まし、自然を体で感じ、ぜひネーブルパークで冬を楽しんでください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

ネーブルパーク

表紙写真



地域交流センターはなももプラザの「古河屋台」。きらびやかに復元された屋台には、天部から順に、鬼板(おにいた)、懸魚(げぎょ)、破風板(はふいた)、虹梁(こうりょう)、欄間(らんま)、柱彫刻(昇り竜・降り竜)の彫刻がほどこされています。かつては、歌舞伎や狂言、大神楽、手品など民俗芸能から大衆演芸まで幅広く上演されるなど、たいへん歴史のある建造物です。袖舞台や花道を含まない状態で、高さ5.5m、幅3.8m、奥行き6.4mの大きさを誇ります。

寄付



日本篆刻家協会(大阪府池田市)より、副理事長・井谷五雲氏、尾崎蒼石氏、真鍋井蛙氏の篆刻作品の寄付。

古河市データ

人口



(1月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,290人 (-25)
男………… 72,391人 (+8)
女………… 71,899人 (-33)
世帯数… 55,153世帯(+29)
()内は前月比

わが家のアイドル



かなと 五味洩希奏くん・そうま 颯真くん
(6歳・1歳10カ月・宮前町)

春から一年生になるわが家のムードメーカー希奏くんは、弟思いのひょうきん者。マイペースでのんびり屋の颯真くんは、お兄ちゃん大好きな甘えん坊。そんな二人はけんかもするけれどとっても仲良し。二人の笑顔はパパとママの元気の源です。これからも助け合い、お互いを大切に思い合う気持ちを忘れずにずっと仲良しでいてね。

今月の料理

白あえ ＜高血压予防食＞



- ①木綿豆腐1/2丁は、耐熱皿にのせ、ラップをかけずに電子レンジで約2分加熱して水気をきる。
- ②ニンジン60gとコンニャク1/3枚は短冊切りにし、コンニャクは熱湯で下ゆです。シイタケ2個は薄切りに、サヤインゲン6本は長さを4等分に切る。
- ③鍋にだし汁1/2カップを入れて煮立て、②を加えて野菜に火が通るまで煮て、そのまま冷ます。
- ④①をすり鉢に入れてよくすり、滑らかになったら、みそ小さじ2・砂糖小さじ4・しょうゆ小さじ1・白すりごま小さじ2を加えてよくすり混ぜる。
- ⑤③をざるに上げて汁けをよくきり、④をからめて和える。(4人分)

＜1人分＞

エネルギー＝72kcal
タンパク質＝3.9g
脂質＝3.3g
カルシウム＝96mg
食塩相当量＝0.6g



日々奮闘!



子育てアドバイザー

「子育てに絵本の読み聞かせを」

絵本は、読んでもらう場所、その日の気分によってお話の印象が変わってきます。読むたびに新しい発見があり、子どもと一緒に思いきり笑ったり、子どもが膝の上でうとうとしたり、親子で一緒に過ごす時間は宝物です。明るく温かい親子関係を可能にするのが、絵本の読み聞かせです。

絵本を声に出して読むのは「照れくさい」「うまく読めない」などの疑問や不安がある人もいると思います。上手に読もうと力まないで、できるだけゆっくりと、ごく普通に読んであげてください。大好きなお父さん、お母さんの声のぬくもり、笑顔に包まれているだけで、子どもは幸せをからだ全体で感じる事ができると思います。

また、絵本は心のごちそうです。絵本には、人間にとって最も大切な想像力、知識、知恵などが絵と分かりやすい言葉で示されています。急いでページをめくらず、絵を十分楽しめま

しょう。

大人にとっても、懐かしい記憶を思い出すことができ、ほっとする時間、空間を提供してくれます。絵本は全ての人の心を育ててくれるメリットもあります。

さあ、今すぐ始められるものです。身近に、古河図書館、三和図書館などがあります。早速、親子でかけてみてはいかがでしょう。子どもと絵本タイムを楽しみ、親子でゆったりとした時間を過ごしましょう。

第一保育所



平成24年2月1日発行

発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野2248
編集／広報室 ● ホームページ／<http://www.city.ibaraki-kogae.jp/>

古河市役所 ☎0280(92) 3111